

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	革新的な粘膜免疫誘導型アジュバントの実用化研究
代表機関名	公立大学法人大阪 大阪市立大学
研究開発代表者名	植松 智
全研究開発期間	平成 29 年度～令和 3 年度

1. 研究開発成果

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101251.pdf>

2. 総合評価

- ・ 優れている

【評価コメント】

当初の計画どおりに、不完全フロイントアジュバントに代わる滞留性に優れたワクチン基剤として W/O/W 型エマルジョンを確定し、霊長類においても粘膜免疫応答誘導及び経鼻ブーストによる抗原特異的 sIgA 長期間リコールを見出した。このことにより、ヒトへの安全性の懸念も一部払拭しており、革新的な粘膜免疫誘導型アジュバントとしての成果を得ている。また、本技術の知財権を製薬企業にライセンスアウトし、実用化に向けて着実に研究を進めている。

今後は、画期的な粘膜免疫誘導型アジュバント開発・製造に向け、対象疾患について、*C. ramosum* を標的とした検討を積み重ね、汎用性の高いアジュバント開発を導出企業と共に進められていくことを期待する。

以上